

## 研究の全体構造図

学校の教育目標

明るい子 考える子 強い子

年度の教育目標

ふるさとのおよさを知り、愛国の未来を担う子ども  
～ゴールに向かって、よく考え実践する愛国っ子～

目指す子ども像（2年次）

- ・豊かな心で協力し合える子ども（ガイドとフォロアーの協力・協働）
- ・自ら学び創造し深く考える子ども（「多様な考え方」をもとうとする）
- ・何ごとにも進んでやりぬく強い子ども（身に付けた力を「多様な場面」で活かす）

研究主題

『自ら考え、伝え合い、学び続ける子どもの育成』

～互いの考えのよさに気づき、いきいきと発信し進んで課題解決できる算数科の授業づくり～

研究仮説

- 算数科の授業に愛国スタイルを取り入れることで、算数の学習に意欲的・主体的に取り組む児童を育てることができるだろう。
- 問題提示の仕方を工夫し、課題解決の手立てを明確にすることにより、わかる喜びが広がり、学習内容の定着を図ることができるだろう。
- 愛国スタイルで身につけた「自主性・学び方」は、他教科の学習やその他行事等においても課題解決に向けて協力・協働のもと主体的に対話的な活動に活かされるであろう。

研究の内容 1

「少人数複式学級のガイド学習での『学ぶ力』を育む指導の工夫」

- ・「愛国スタイル」での算数科の学習過程について
- ・「愛国スタイル」での算数的活動について
- ・2人学年での学習の進め方について
- ・単式学級から複式学級への円滑な接続について

研究の内容 2

「少人数複式学級のガイド学習での『考える力』を育む指導の工夫」

- ・「解いてみたい」意欲を喚起する課題の提示について
- ・「考えの筋道」の見える板書のあり方について
- ・「思考を助ける」ICT機器の活用について

研究の内容 3

「少人数複式学級のガイド学習で『身に付けた力』を他教科などで活用する力を育む指導の工夫」

- ・伝えたいことをどの「書く活動」につなげるかについて
- ・「書く活動」をどのような「表現のしかた」につなげるかについて
- ・「表現の幅を広げる」ICT機器の活用について

支持的風土のある学級経営

基本的な生活習慣・学習習慣の定着

「確かな学力」を基盤とした生きる力